

大すきなイヴちゃんのこと

四年 南原奈樹

わたしの家でかっているモルモットのイヴちゃんのことについて書きます。わたしが小学校一年生のときにイヴがきました。一人でる守番してもさみしくないようにママが買ってくれました。クリスマスイヴに来たので名前はイヴとつけました。チャームポイントはせ中にあるベツカムヘアです。こげ茶色なので、小さなカピバラみたいに見えます。

暑くなつてからイヴの様子がおかしくなりました。ごはんを食べなくなったり、うんちが少ししか出なかつたりして悲しそうな顔をしていました。少し様子をみましたが、元氣にならなかつたので、病院につれていきました。体重をはかたら、一・二kgあつたのに八百gになつていてびっくりしました。わたしは「ごはんが食べれなくてつらかつただろうな。」と思いました。モルモットはずつと歯がのびつづけるので、歯がのびすぎて食べれなくなるころがあるそうです。先生は口の中をみる道具を使つてイヴの口の中を見ようとしました。でもイヴは大あばれで口の中を見せてくれません。先生は何回もくり返してやっと少しだけ見ることができました。先生は、

「おく歯がすこしおかしいかもしれない。」

と言いました。

「ますいをしておく歯の様子をしつかり見たいです。小動物にはますいをかけると目がさめないかのうせいがあるのでかくごしててください。」

と言われて、わたしは「イヴが目ざめなかつたらどうしよう。」とママのせ中で泣きそうになりながら思いました。ママとパパと先生で相談して、お願いすることにしました。歯がのびすぎていたら、歯をけずる手じゅつをしないといけないと聞いてとてもこわくなりました。イヴは水も飲めなかつたので、その場で点てきをしてもらい、そのまま入院することになりました。病院のケージに入ったイヴは、とてもこわがっていました。

「イヴちゃんがんばつてね!!」

と言つて病院をめました。帰りの車で、がまんしていた気もちがあふれてきて、ママと泣きました。イヴが元氣になつてくれることを願つて、病院からの電話を待ちました。

夕方、病院から電話がきて、「手じゅつがぶ事に終わり目がさめたのでむかえにきてください。」と言われました。わたしは「イヴちゃんが生きて帰ってくる!!」と思い、すぐにむかえにいきました。病院のケージに入ったイヴは小さなぬいぐるみのようにかたまっていました。わたしは

「イヴちゃんよくがんばつたね。」

と声をかけてあげました。家につくとイヴは病院での様子とまぎやくになり、とても元氣な様子を見せてくれました。まだ、ごはんは自分で食べれないけどずっと元氣なイヴでいてくれるとうれしいなと思いました。